

1 水道事業

(1) 収益的収支（維持管理の収支）

・収入は、人口減少の影響により、前年度から水道料金が減少したことに加え、令和6年度能登半島地震の応援活動費用に係る負担金収入等の皆減に伴い雑収益が減少したため、収入全体では前年度よりも約2.6億円減少しました。

・支出は、令和6年度能登半島地震で被災地域の応急復旧活動に係る経費が皆減したものの、物価高騰や労務単価の上昇により、委託料や修繕費等が増加したことに加え、減価償却費及び固定資産の廃棄に要する費用（資産減耗費）が増加したことにより、支出全体では前年度よりも約4億円増加しました。

●予算執行状況（単位：百万円・税込み）▲はマイナス

	項目	予算額 ①	R7決算額 ②	対予算 ②－①
収益的収入	水道料金	10,819	10,784	▲ 35
	長期前受金戻入	395	400	5
	その他収入	640	724	84
	他会計繰入金 （一般会計）	123	115	▲ 8
	収入計	11,977	12,023	46
収益的支出	人件費	1,225	1,195	▲ 30
	物件費※	4,618	4,504	▲ 114
	減価償却費等	4,410	4,268	▲ 142
	企業債利息等	478	477	▲ 1
	その他	203	32	▲ 171
	支出計	10,934	10,476	▲ 458

※物件費：動力費、修繕費、委託料等

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。

※R7決算額について、R6からR7への繰越額も含まれます。

●損益計算書（単位：百万円・税抜き）▲はマイナス

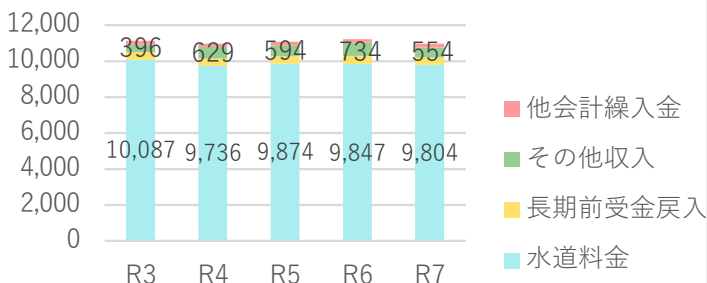
	項目	R7決算額 ①	R6決算額 ②	対前年度 決算額 ①－②
収益的収入	営業収益	10,253	10,256	▲ 3
	(1) 水道料金	9,804	9,847	▲ 43
	(2) その他	448	409	39
	営業外収益	703	955	▲ 252
	(1) 長期前受金戻入	400	445	▲ 45
	(2) その他	304	510	▲ 206
	特別利益	11	15	▲ 4
	収入計	10,967	11,226	▲ 259
収益的支出	営業費用	9,549	8,930	619
	(1) 人件費	1,194	1,092	102
	(2) 物件費	4,084	3,792	292
	(3) その他	4,270	4,046	224
	営業外費用	486	703	▲ 217
	(1) 企業債利息等	477	475	2
	(2) その他	9	228	▲ 219
	特別損失	0	5	▲ 5
	支出計	10,035	9,637	398
収支	純利益	932	1,589	▲ 657

※営業外費用、特別損失に人件費、物件費を含むことがあるため、下記5年間の決算値推移と数値が一致しない場合があります。

●5年間の決算値推移（単位：百万円・税抜き）

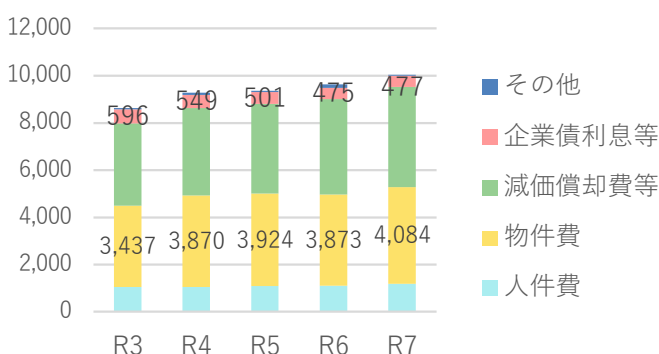
（単位：百万円）

収益的収入（税抜き）



（単位：百万円）

収益的支出（税抜き）



<水道料金>

人口減少に伴い減少傾向となっていますが、令和8年6月の料金料改定に伴い、令和8年度は増収となる見込みです。

<その他収入（営業外雑収益）>

令和6年度は、令和6年度能登半島地震の災害支援に要した費用について、被災自治体や一般会計から負担金を収入したことにより、高い数値となりましたが、令和7年度は例年並みとなりました。

<物件費>

物価高騰や労務単価上昇により、委託料や修繕費が増加傾向にあり、物件費は過去5年間で最も高い値となりました。今後も物件費全体の上昇が見込まれます。

<企業債利息等>

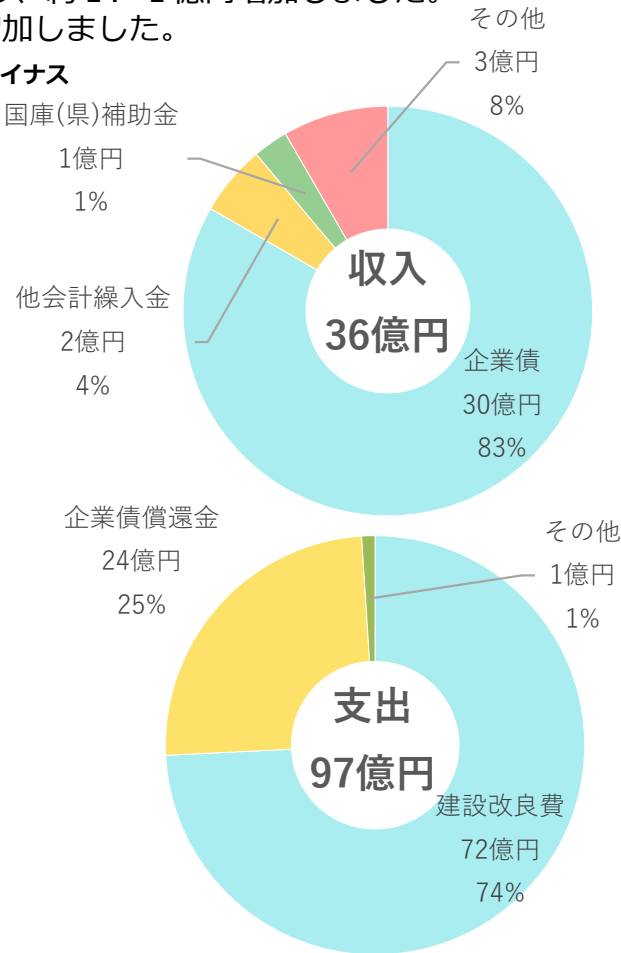
未償還残高の平均利率が低下していることにより、減少傾向にありましたが、令和7年度は、令和6年度の新規借り入れに伴い、増となりました。

(2) 資本的収支（建設投資の収支）

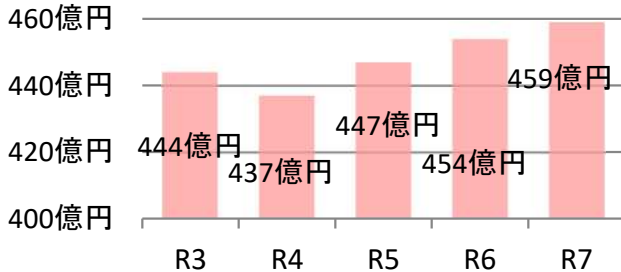
- ・収入は、他会計繰入金や国庫補助金等が増加したことにより、約1.1億円増加しました。
- ・支出は、建設改良費が増加したことにより、約9.7億円増加しました。

●予算執行状況及び前年度比較（単位：百万円・税込み）▲はマイナス

資本的収入	項目	予算額 ①	R7決算額 ②	R6決算額 ③	対予算 ②－①	対前年度 決算額 ②－③
	企業債	7,338	2,956	2,915	▲ 4,382	41
	他会計繰入金	194	204	156	10	48
	国庫(県)補助金	919	121	79	▲ 798	42
	その他	351	283	305	▲ 68	▲ 22
	収入計	8,800	3,564	3,455	▲ 5,236	109
資本的支出	項目	予算額 ①	R7決算額 ②	R6決算額 ③	対予算 ②－①	対前年度 決算額 ②－③
	建設改良費	13,999	7,274	6,370	▲ 6,725	904
	企業債償還金	2,433	2,433	2,287	0	146
	その他	16	16	100	0	▲ 84
	支出計	16,448	9,724	8,758	▲ 6,724	966



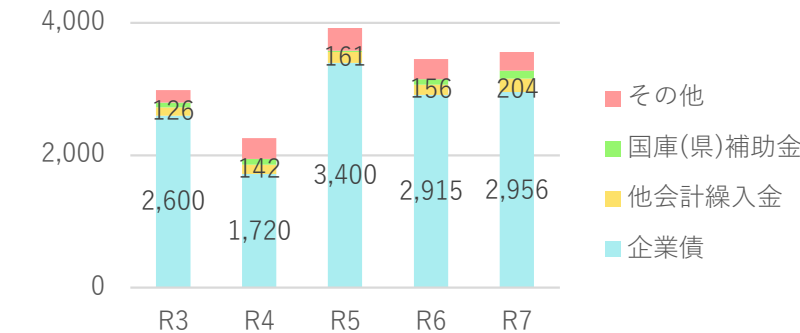
水道事業の企業債残高



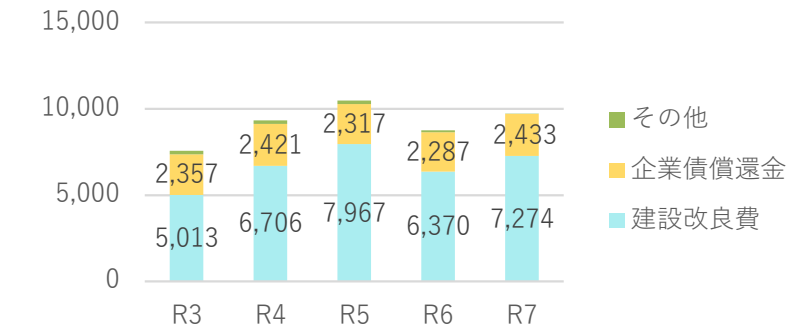
※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。
 ※R7決算額について、R6からR7への繰越額も含みます。

●5年間の決算値推移（単位：百万円・税込み）

（単位：百万円） 資本的収入（税込み）



（単位：百万円） 資本的支出（税込み）



<企業債>

令和6年度と比べ、企業債の借入対象事業が増加したことにより、企業債の借入額は増加しています。建設改良費が変動することで、借入額も変動します。

<他会計繰入金>

令和6年度よりも増加していますが、これは、令和7年度の交付対象事業が増加したことにより、地震・津波対策等減災交付金が増となったこと等によるものです。

<建設改良費>

水道施設の更新工事等が増加したことにより、令和6年度より工事請負費が増加しました。今後も、地震対策を進めるにあたり、建設改良費の増加が見込まれます。

<企業債償還金>

借入企業債の据置期間廃止に伴い、令和6年度の償還額に比べ増加しました。